

# 経済建設常任委員会

## 他都市行政調査 実施報告書

新潟県新発田市 10月29日

### 食の循環によるまちづくりについて

#### 1. 新発田市の概要

人口 97,510人  
(令和元年5月末住基人口)  
面積 533.10km<sup>2</sup>  
合併 平成15年豊浦町と合併  
平成17年紫雲寺町、加治川  
村と合併



#### 2. 視察の目的

農産物のブランド化に向けた農商工連携や6次産業化による加工品の開発・生産や地産地消、食育等の豊かな食生活の形成他、農業及び農産物を活用した当市のまちづくりを更に進展させる参考とするため。

#### 3. 調査項目

- 食の循環によるまちづくりについて
- 農業の取り組みについて

#### 4. 今後の展開について

新発田市では、「新発田市食の循環によるまちづくり条例」を策定して、市民、事業者及び市毎日の生活の中で「食」の大切さを認識し、「食の循環」の役割を理解し、行動することによって「食の循環」を活用したまちづくりを進め、「地域の活性化」と「市民生活の質の向上」を目指している。

岩見沢市は、地域の特性を活かした、強い「いわみざわ農業」の実現と持続的な発展を目指している。

土づくりから農産物のブランド化、販路拡大等「食の循環によるまちづくり」は参考となる視察で改めて市民と行政一体となったオール岩見沢で取り組む重要性を認識した。

# 経済建設常任委員会

## 他都市行政調査 実施報告書

秋田県横手市 10月30日

食と農からのまちづくり事業について

### 1. 横手市の概要

人口 89,646人  
(平成31年3月末住基人口)

面積 692.80km<sup>2</sup>

合併 平成17年に増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村の5町、2村と合併



### 2. 視察の目的

基幹産業の農業を取り巻く環境は、農家戸数の減少や担い手不足、価格の低迷、国際貿易協定の進展により厳しい状況にあり、農業の6次産業化を支援する施策及び園芸作物の振興、人材育成に係る取り組みを参考とするため。

### 3. 調査項目

- 食と農からのまちづくり事業について
- 6次産業化の推進について
- 横手市園芸振興拠点センターについて



### 4. 今後の展開について

横手市では、「6次産業化支援施設」及び「園芸振興拠点センター」を本年新設して、6次産業化に取り組もうとする個人や団体に地元の農産物を使用した新商品開発に対する支援や「よこて農業創生事業」を通じ、「所得の確保」、「若者が希望をもって就業できる」農業の実現を目指して取り組んでいる。

高収益作物の導入や付加価値を付けた食品加工の取り組みや新規就農、人材育成、岩見沢市が先駆的なスマート農業の推進が「いわみざわ農業」の確立には必要である。

当市でも多くの施策をもって「魅力ある農業」の実現に取り組んでいるが、横手市の施策も非常に参考になり、今後もさらに調査研究を進めていきたい。